

晩秋の稀府岳と天狗岩 山行

日程 2019年11月4日(日)

天候 晴れ時々曇り

参加者 CL 渡邊

A班 L 藤木(晴れ)、SL 宇田、早川、栗山、八重樫

B班 L 澤田、SL 門馬、山岸、鈴木、増川

C班 L 藤木(たか)、本野、森永、小笠原

(以上15名)

工程時間

出発(8:30)～ガマ岩(9:50)～山頂着(10:20)(発)(10:30)～
672mピーク(10:50)～天狗岩着(11:30)～昼食～下山
(12:05)～山頂着(13:05)～発(13:15)～登山口(14:15)

登り 3時間 下り 2時間

前回、登ったのは7月でした。

トムラウシ山行を控えていた為か、何だか、緊張して登ったことを思い出します。これが夏山最後の山行になりますね、本当に早いです。

Yさんの体操で全身ほぐれました。

さあ、温まってきたので出発です。



歩き始めると、すぐに赤や黄に色付いた樹々がやさしく迎えてくれます。栗も落ち、山ぶどうの木も葉を落とし、時々、落ち葉の中にどんぐりが見え隠れと、最後の賑わいでしょうか。

ガマ岩迄、一気に登ります。

正面から見ると、ガマガエルが居座ってこちらを見えています。何度もここを通っているけど、ガマと一緒にカメラに収まるのは、初めてのことです。



2つのピークを越えると山頂です。

山頂からは、うっすらと雪を付けたオロフレ山が見えています。

その奥に見える徳舜瞥山、ホロホロ山も白っぽいです。

皆で使用前のきれいな顔でカメラに収まり、ここからは、しっかり気合いを入れ、天狗岩へ向かいます。



前はガスに覆われて回り見えませんでした。今日はどうなることか。

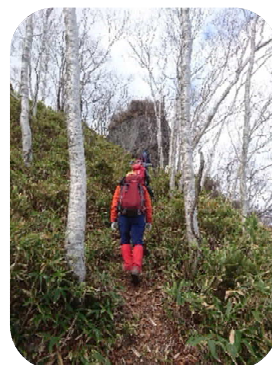
道はしっかり踏みしめられ歩きやすいです。急な斜面を歩いていくと、コル(標高 660m)に出ました。以前は防火帯が交差しているのがわかりましたが、いまわ笹が伸びて分かりづらいです。結構な登りを20分ほど行くと標高672mのピークに出ました。



風が弱いので安心して歩くことが出来ます。このピークからは下りになります。滑らない様、足元だけ見てゆっくり慎重に足を運びます。少し降りて、振り返ると大きな岩峰がそそり立って見えています。

やがて、右側がすっぱりと切れた痩せ尾根が見えてきました。少しも気が抜けません。ここも、無事通過し、10メートル程降りていくと、4名のパーティーに会いました。室蘭市から来られた方々でした。

下りきって、10メートル程登ると大きな岩がそびえていました。天狗岩に到着です。



風の当たらない場所で早めのランチタイム。
食べている間も次から次と登山者が来ます。しかも若者ばかりです。いつの間にか人気の山になっていた様です。

(出会った登山者は 13～14 名程)



天狗岩から山頂迄のコースタイムは同じ一時間でした。



予定の時間より早く着いたこともあり、ここからの下山はのんびり、ゆったりと晩秋に輝く田園風景を眺めながらの下山でした。



スリリングで楽しい山行でした。
計画を立てて下さったリーダー、ありがとうございました。
一緒に登った皆さん、ありがとうございました。

八重樫 記